

# St. Luke's International University Repository

## 聖路加看護大学公開講座一覧

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10285/174">http://hdl.handle.net/10285/174</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



### 聖路加看護大学公開講座一覧

	テ ー マ	期 間 (時 間 数)	場 所	講 師	参加者
第 1 回	水と電解質バランス 基 礎 編 応 用 編	基礎編 (15時間) 昭和46年 ① 6月16日～7月24日 応用編 (15時間) ① 8月31日～9月2日 ② 9月23日～10月21日	聖 路 加 看 護 大 学	日野原重明 柴垣 昌功 長谷川 博 山本高治郎 青木 明人 山内 真	基礎編 154名 応用編 111名
第 2 回	Vital Signs	昭和47年 9月10日～12月22日 (30時間)	聖 路 加 看 護 大 学	日野原重明 成瀬 妙子 五十嵐正男 三井 和子 多田 寛 新 秋枝 阿部 正和 高橋シュン 小宮 弘毅 近藤 潤子 沢井美智子	111名
第 3 回	看護のための人間理解	昭和48年 5月17日～7月19日 (21時間)	聖 路 加 看 護 大 学	日野原重明 村地 悌二 岡堂 哲雄 井原 泰男 馬場 一雄 外口 玉子 近藤 潤子 高橋シュン 常葉 恵子	143名
第 4 回	腎臓および尿路疾患とその 周辺の問題	昭和48年 9月20日～11月1日 (30時間)	聖 路 加 看 護 大 学	日野原重明 稲生 綱政 山本高治郎 常葉 恵子 岡本 重禮 三井 和子 酒井 糾 井部 俊子 宮原 忍 新保 敦子	120名
第 5 回	問題志向システム(P.O.S) による患者ケア	昭和49年 7月15日～7月16日 (16時間)	私学会館	日野原重明	173名
第 6 回	看護計画を考える	昭和49年 11月16日～11月17日 (12時間)	聖 路 加 看 護 大 学	高橋シュン 近藤 潤子 吉武香代子	122名
第 7 回	看護計画における看護問題	昭和50年 10月11日～10月12日	聖 路 加 看 護 大 学	高橋シュン 近藤 潤子 外口 玉子 聖路加看護大学 看護担当教員	141名
第 8 回	看護計画における看護問題	昭和50年 11月22日～11月23日	東 医 健 保 会 館	同 上	121名

第9回	危機場面における看護援助	昭和51年 11月20日～21日	東京 YWCA	岡堂 哲雄 岩井 郁子 内村 明子 近藤 潤子 井部 俊子 西尾美恵子 鷲田 真弓 門馬かよ子 熊田 洋子 内山 芳子 鈴木 篤子	123名
第10回	看護教育計画の再検討	昭和53年 1月14日～16日	東京 YWCA	永井 道雄 吉田 時子 渋谷 憲一 高橋シュン 堀 原一 岩井 郁子 都築 公 内山 芳子 近藤 潤子 常葉 恵子	210名
第11回	看護教育における評価	昭和54年 1月12日～14日	中央区立 中央会館	Lorraine P. Sachs Micheal Kane (N.L.N)	331名
第12回	看護教育におけるカリキュラム枠組み	昭和54年 11月2日～4日	プレスセンター ホール	Mary A. Dineen Marjory Gordon (Boston College)	235名
第13回	看護の主な理論と教育および実践への展開	昭和56年 1月15日～17日	A B C 会 館ホール	Dorothy J. Novello Teresa Peduzzi (Villa Maria College)	250名
第14回	役割理論—その看護における実践, 教育, 管理への応用	昭和57年 1月14日～16日	A B C 会 館ホール	Carol Knowlton Virginia F. Gover (Catholic University of America)	212名
第15回	変化理論—看護実践および教育への応用	昭和58年 1月13日～15日	A B C 会 館ホール	Gloria S. Hope (元 Veterans Administration, Central Office) Elizabeth A. Petrie (College of Mt. St. Joseph on the Ohio)	250名
第16回	看護理論を活用するために—システム理論に影響をうけた看護理論に焦点をあてて	昭和59年 1月13日～15日	A B C 会 館ホール	Patricia Underwood, Patricia Benner (University of California, San Francisco), 南裕子 (聖路加看護大学)	350名
第17回	理論と研究の接点—サポート概念に焦点をあてて	昭和60年 1月12日～14日	A B C 会 館ホール	Jane Norbeck (UCSF), Patricia Archbold (The Oregon Health Science University), 近藤潤子 (聖路加看護大学)	359名
第18回	看護研究の質の向上をめざして—研究における理論や概念枠組の役割	昭和61年 1月11日～13日	A B C 会 館ホール	Afaf Meleis (UCSF) Patricia Winstead-Fry (New York University) Nancy Engel (聖路加看護大学) 筒井真優美 (聖母女子短期大学)	372名